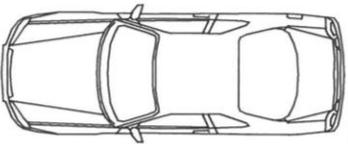
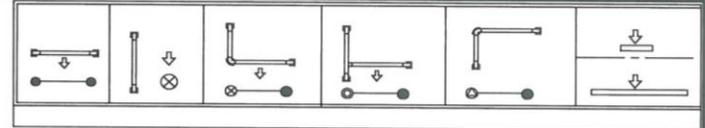
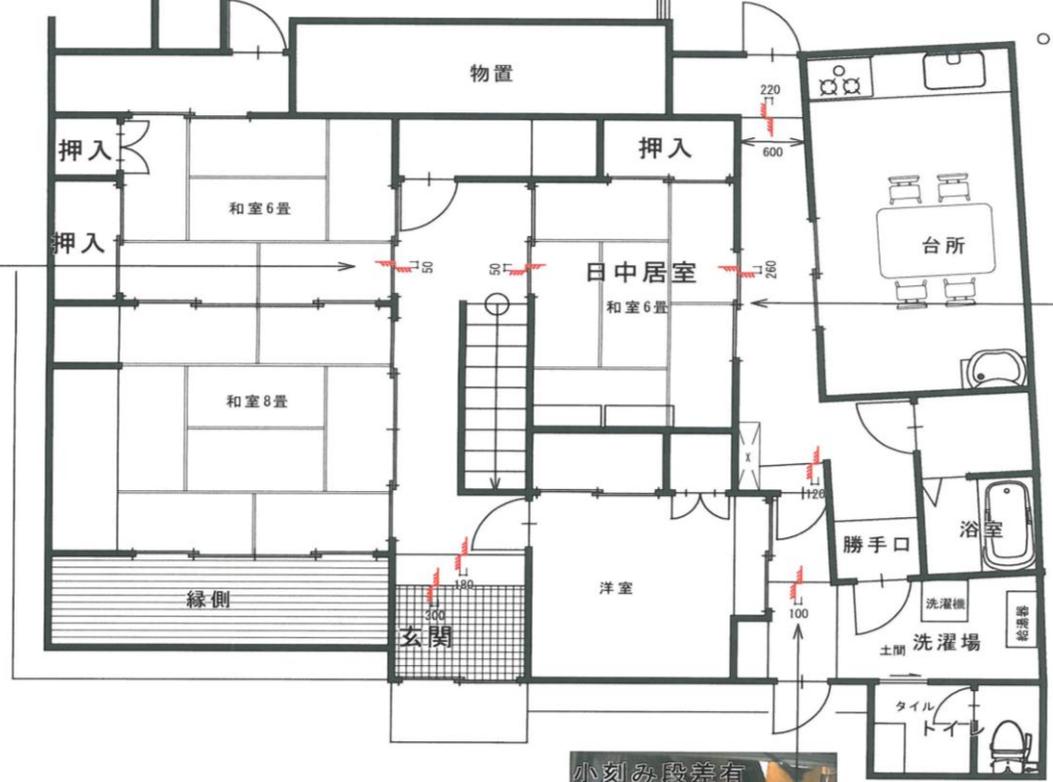


工事前状況



和室（現在はあまり利用していない）



廊下出入口段差



段差260

日中居室



2011.04.07

30cm以上の段差／車いすでは奥様が難しい



2011.04.07



小刻み段差有

K様邸 工事前現況図

K様宅の住宅改修での情報

●K様の身体状況

- ・右脳梗塞発症。左半身麻痺、高次機能障害の後遺症あり。
- ・歩行不可車いす介助。立位は少しの間なら見守りにて可能。
- ・けいれん発作があり、常に見守りが必要。
- ・見守り指示があればトイレ内での移乗は可能
- ・左半身の麻痺はきつく全く動かない

●介護状況

- ・奥様が主介助者。60歳台。
- ・娘様・孫様と同居であるが日中ほぼ不在である。
- ・どんな状況でもベッドで食事をとるのではなく、必ず一緒に食卓に行き、みんなで食事をとるようにしたいとの強い希望がある。
- ・退院後はデイサービスを希望されている。

●住宅環境

- ・母屋から離れを継ぎ足しているためサッシから段差がある
- ・屋外は広いが、門扉先に急なコンクリート階段ある。

問題点 その1

- 車いすでの宅内～外の介助移動

問題点 その2

- 車いすでの日中居室～台所・外への

問題点 その3

- 車いすトイレ移動・排泄

問題点 その4

- 入浴において

問題点 その5

- 洗面行為はどうするか？

- ・外の地面から母屋の床は48cmの高さである。

私が思うベストプランだけでなく、何通りかプランを出しました。
段差が違うレベルへの縦横無尽の動線となるとどこかは欠点が出てきます。
健常者の通常動線や日常生活も考えると何を優先にすべきか難しい所です。

ご家族様の状況と希望を良く把握することが大切です。それだけでなくもしてみないとわからない事も多いですからね。



外出・台所移動時のプラン 其二 検討提案プラン1 外出・台所移動において

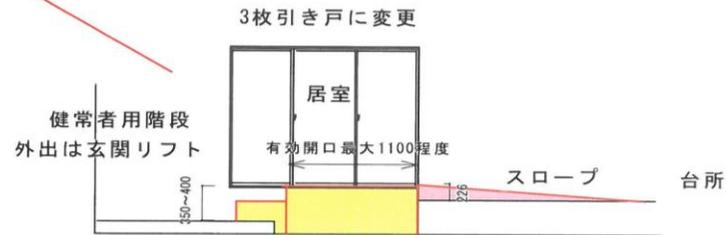
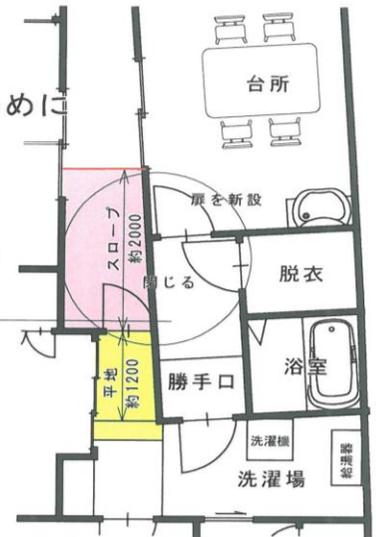
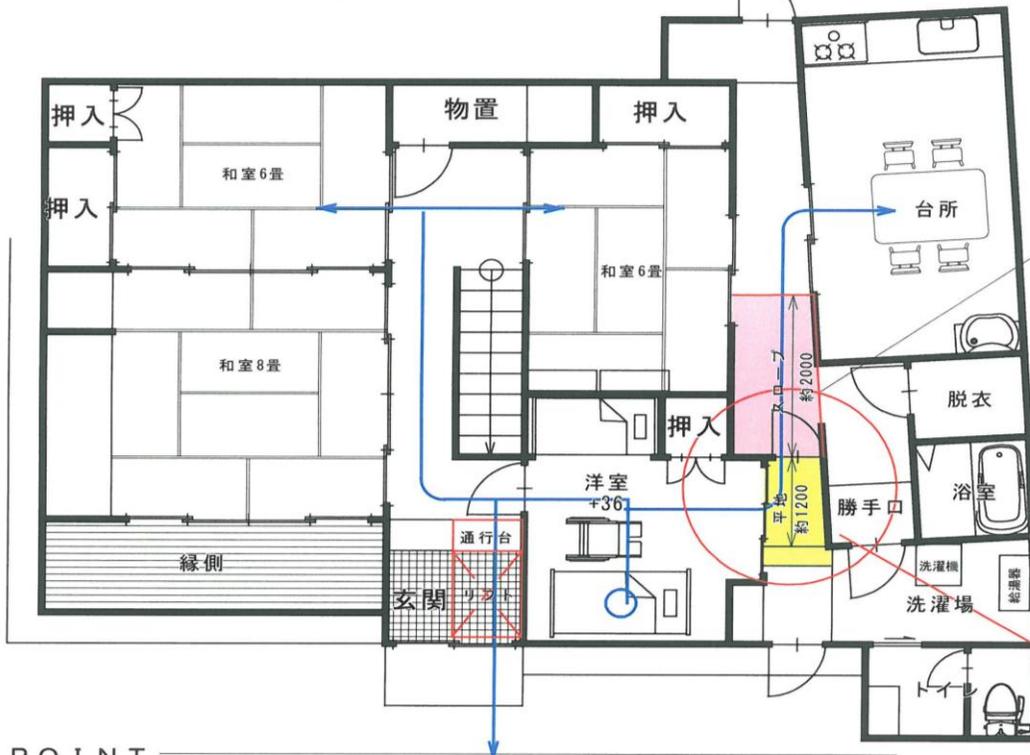
横手すり 	縦手すり 	字型手すり等 	T型手すり等 	等逆L字型手すり等 	補強下地/縦
記号の意味					補強下地/横

外出は表玄関のリフト
台所は居室の3枚引き戸から

● 良い点
複雑なことをしなくてすむ

● 欠点
この脱衣に行く開口部の段差が斜めになるため健常者の方は非常に使いにくい

その場合右記のような考えもあるが不便に思われるかもしれない



POINT

外出出入りはリフト。台所への出入りは窓を掃出しに変えてスロープ設置し台所へ行くプランです。
欠点は脱衣所への動線時に健常者の方はスロープ部分から昇降せねばなりません。ですから出入口を閉じ台所から扉設置して出入りできるプランも提案しました。

名称

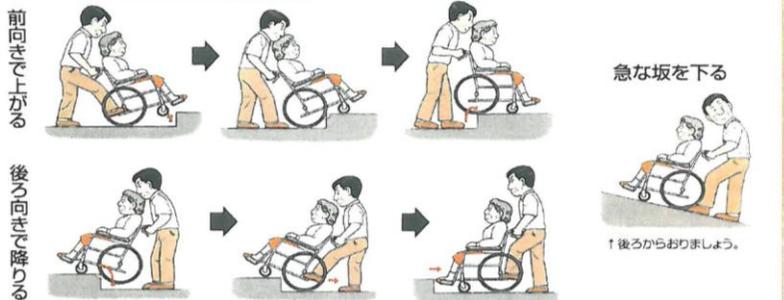
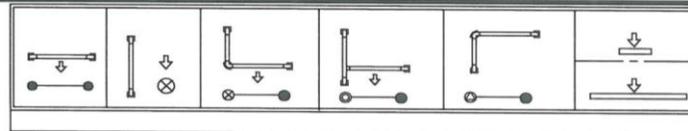
K様邸

担当

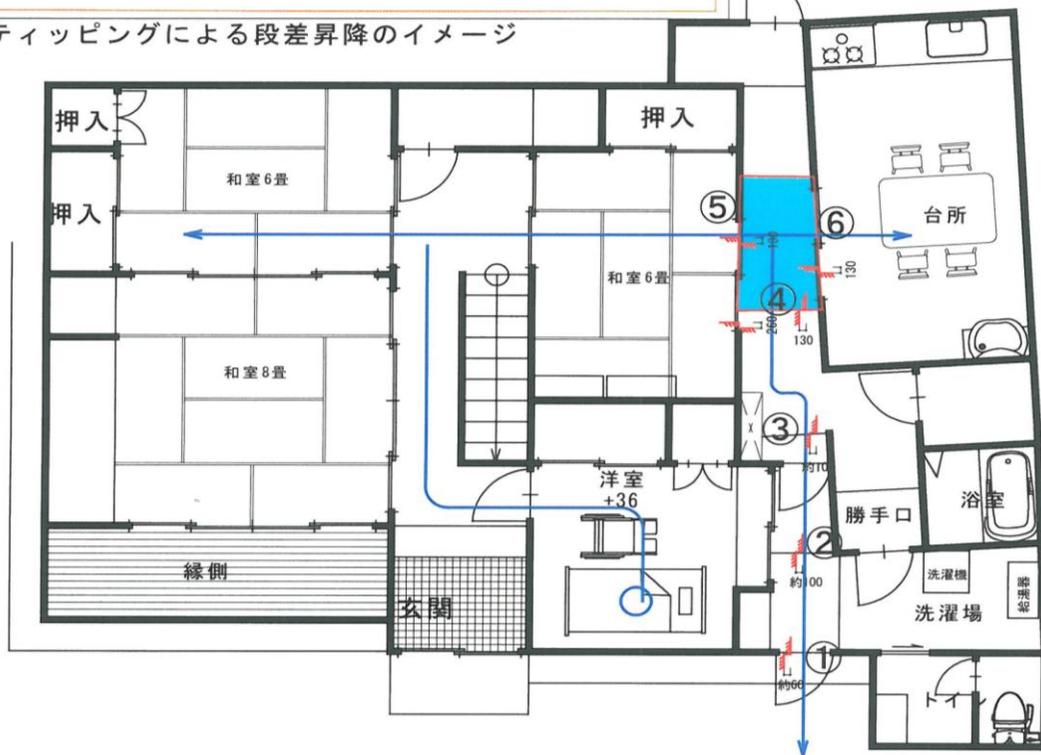
小林

製図

外出・台所移動時のプラン 其三 検討提案プラン2 外出・台所移動において



ティッピングによる段差昇降のイメージ



全部で6段の段差ができます。。

10cm~13cmの段差をティッピングできるなら
リフトやスロープの設置もありません。
非常に簡素な改修で日常生活が可能となります。

日常で苦痛に感じない労力であるかどうか慣れや
車椅子の選定、一日の通行頻度にもよりますが
一度試してみる価値はあると思います。
簡易的なものならご自宅でも試せます。

既設写真イメージ



玄関プランに
おいても

- ・ レンタル
- ・ コンクリート
- ・ 鉄製

などの提案から
コンクリートに決定。

・ フローリング仕上げ



門扉出入り口

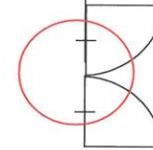
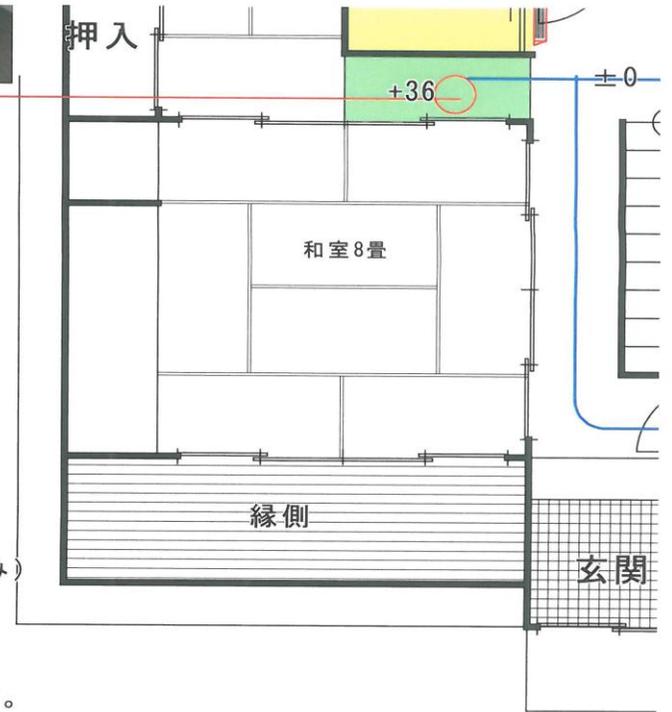
思ったより段差が大きいと思われます。
見た目そうでもなさそうですが勾配もついて
おりますのでH300~350mm程度ありそうです。
となると最低2.5~3.5m程度のスロープが
ほしいところです。

① レンタルスロープ 1000円/月掛かります
※月々コスト掛かります。
※1枚物は2.5mまでです。
※容易に取り外しが可能です。(使うときのみ)

② コンクリートスロープ2.5~3.5m
※両サイド手すり設置の場合結構高くなります。
※後ほどの撤去は大変です。

③ 鉄製スロープ
※後ほど撤去等は容易です。
※長年利用ですと当然錆びます。②コンクリートスロープ

① レンタルスロープ



-----高齢者住宅改造専門店-----

株式会社
SHR シニアハウスプラン
兵庫県小野市新部町1539番地2 TEL. 0794-66-6222

名称

1



問題点 その1

●車いすでの宅内～外の介助移動

奥様の体力でも介助できるよう1/10のスロープを設置。高さ30cmに対し、3mの長さ、幅1000のスロープを設置し両側に手すり設置もした。また落ち止め施工も施しました。スロープから先は芝生で比較的楽に移動可能でした。

2



●住宅環境

問題点 その2

●車いすでの日中居室～台所・外への移動

ティッピング案を選択。選択の際に実験用の式台と実際利用の車いすで奥様に動作して頂いた。お若いこともあり60kgぐらいの男性を載せて操作したところ非常に上手に横断でき、台所、外出とも問題なくできそうでした。ただ自分も年齢が行くのでいつまでこの操作ができるかわからない。とのこと。しかし離れの大幅な改修も視野に入れておられたため、そうなったときに離れと母屋の段差もなくし大幅に改修されてはどうか？またその折にリフト設置なども勘案することで合意しました。

3



問題点 その3

●車いすトイレ移動・排泄

補助の意味合いだけで言うと既設位置にて改修するほうが望ましかったが、水廻りをすべて離れ側に集中させていたため、格段に段差が大きくスムーズに使いことが非常に困難であった。
(トイレは土間レベルであり全部で48cm段差がある)長い目で見るとそこを改修しても今後非常に使いづらく問題が多かった。
そのため現在あまり使っていない和室の一角をトイレとし介助スペースも十分取れるような改修案にした。便器高さも車いす用45cmとした。

4



問題点 その4

●入浴において

入院中で退院準備の改修であった上に、自宅での入浴は非常に厳しい身体状況であった。
デイサービス利用メインで問題ない範囲になれば自宅入浴の方法を検討することにした。

5



問題点 その5

●洗面行為はどうか？

現在一段下がった台所に設置されているため使いづらく、車いすにも対応していなかったためトイレ内に同時設置することとした。便利！



そのほかに日中いるお部屋をフローリングにしたりスロープ設置、排水工事・給水配管工事などを施しております。

最終改修案

● トイレ
⑨ 車椅子専用トイレ

- ・ 入り口 2枚引き戸 (有効1000~1100程度)
- ・ 便器・ウォシュレット (高さ要確認)
- ・ 給水・排水・電気工事 (洗面の場合給湯工事)
- ・ L型手すり (位置や長さ要確認)
- ・ 床クッションフロア仕上げ
- ・ センサーライト設置
- ・ トイレ内嵩下げ 廊下同レベル

● 洗面室
⑩ 車椅子用洗面台

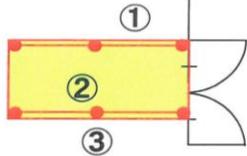
- 電気温水器
- ※給湯器遠いため



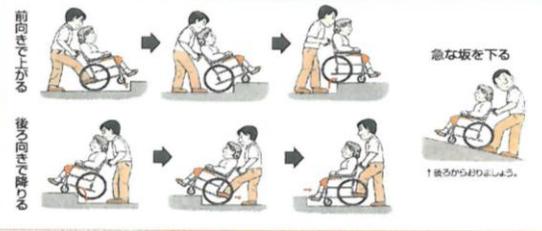
・ フローリング仕上げ

門扉出入り口
思ったより段差が大きいと思われます。
見た目そうでもなさそうですが勾配もついて
おりますのでH300~350mm程度ありそうです。
となると最低2.5~3.5m程度のスロープが
ほしいところです。

- 玄関
- ① 屋外手すりUD3本足
 - ② コンクリートスロープ W900X2500
 - ③ 屋外手すりUD3本足



ティッピング用式台



※浴室は検討

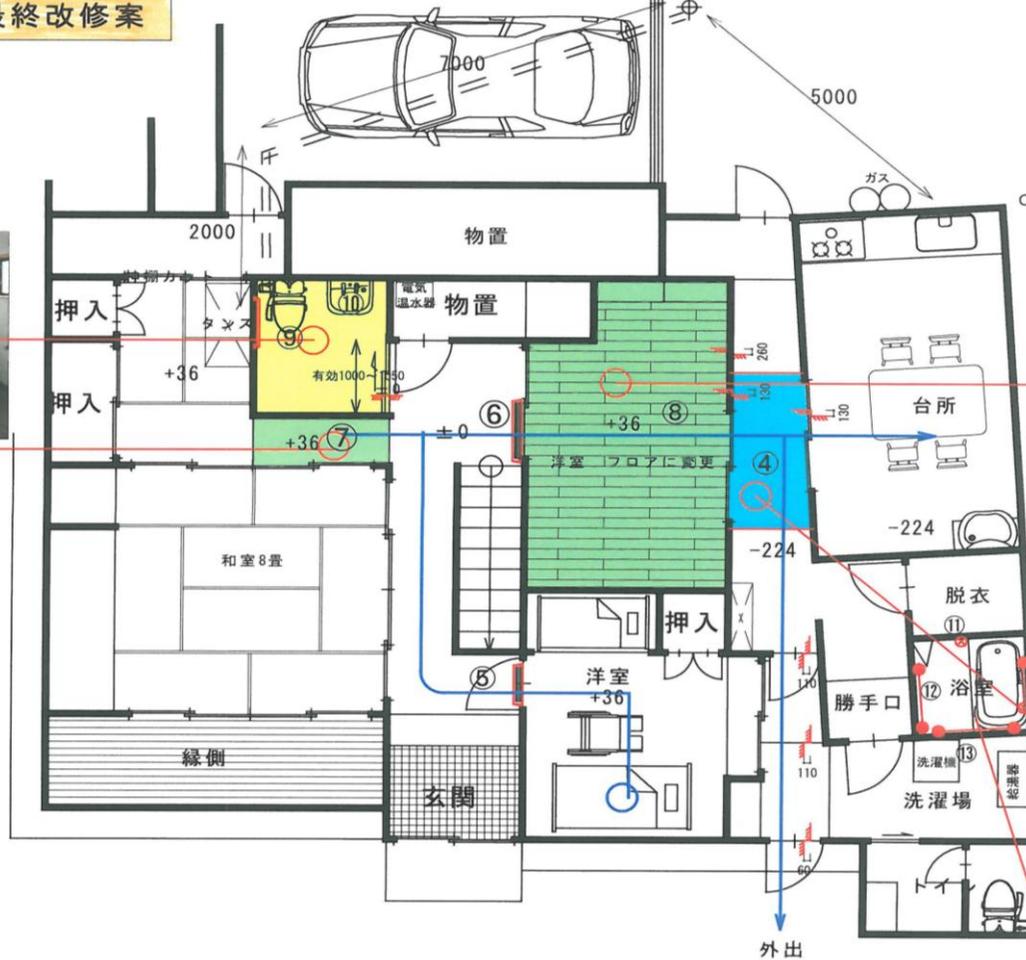
- ⑪ 樹脂600
- ⑫ 樹脂800
- ⑬ 樹脂900
- ⑭ 樹脂600 x 600

● 居室
⑧ 畳からフローリングに変更

- ・ 床フローリング (現状レベルあわせ)
- ※廊下レベルあわせ (-36mm) も可能です。
- ・ 杉板張り腰壁
- ・ 押入れ中段撤去・床フロア/壁補修

腰板・着色施工例

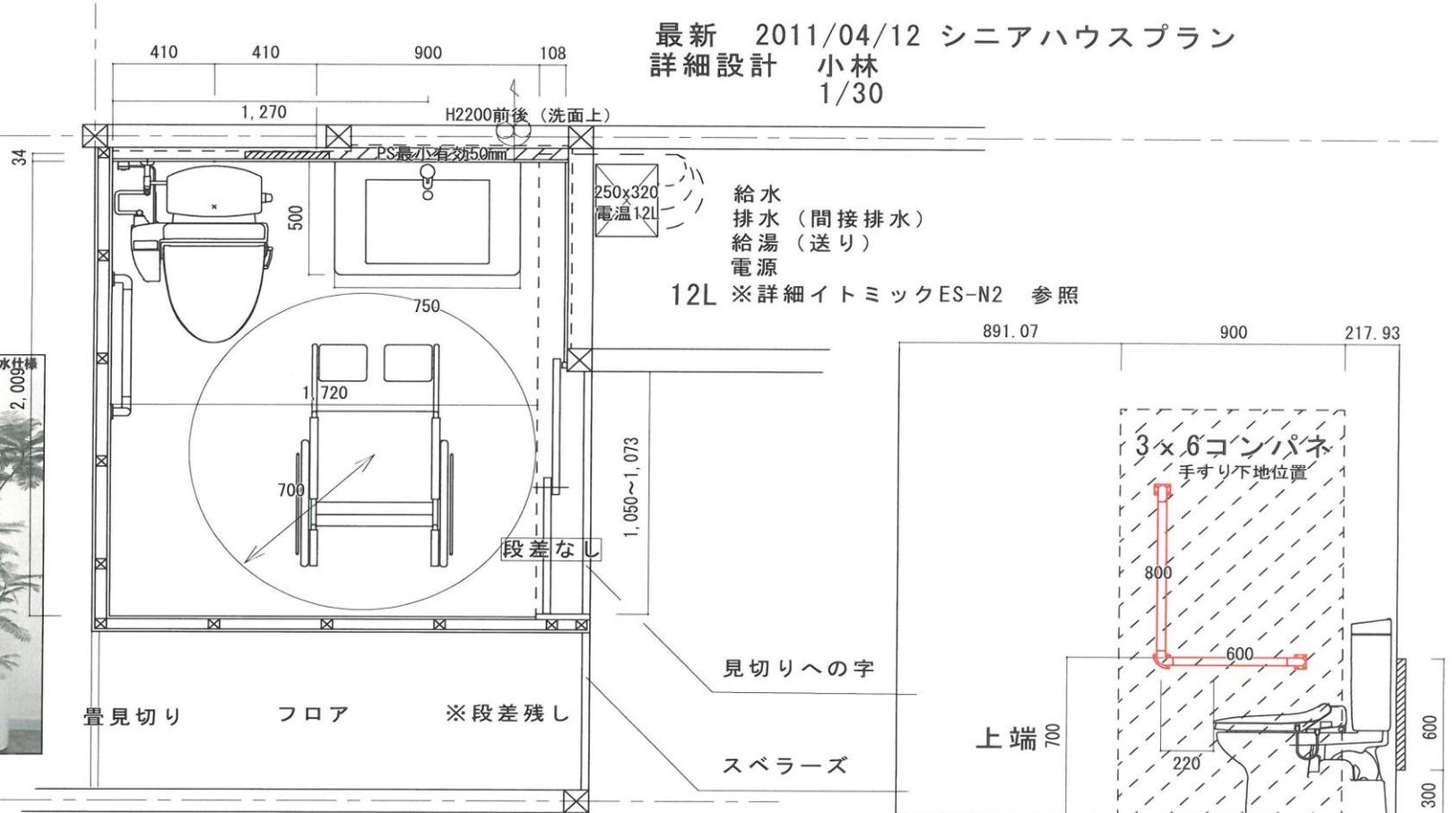
- 廊下
- ④ ティッピング式台
2500 x 1000 x h130
フロア仕上げ
 - ⑤ EVAスロープ #30 W760
 - ⑥ EVAスロープ #30 W760
 - ⑦ 畳からフローリングへ



● トイレ寸法も細かく決めて施工しました。

トイレ内寸法詳細 予備案

最新 2011/04/12 シニアハウスプラン
 詳細設計 小林
 1/30



○ 新設の為
 Pトラノ壁給水給湯とします。

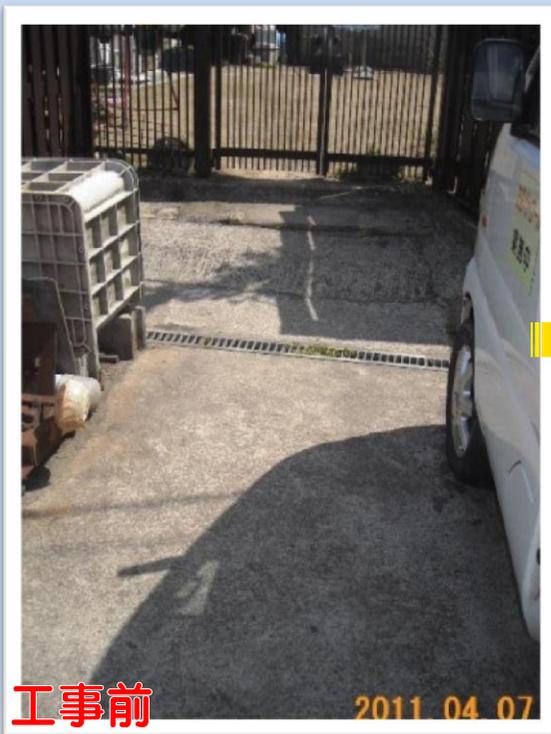
※洗面裏も補強願います。
 跳ね上げ予備補強 D30

改修後 BEFORE~AFTER

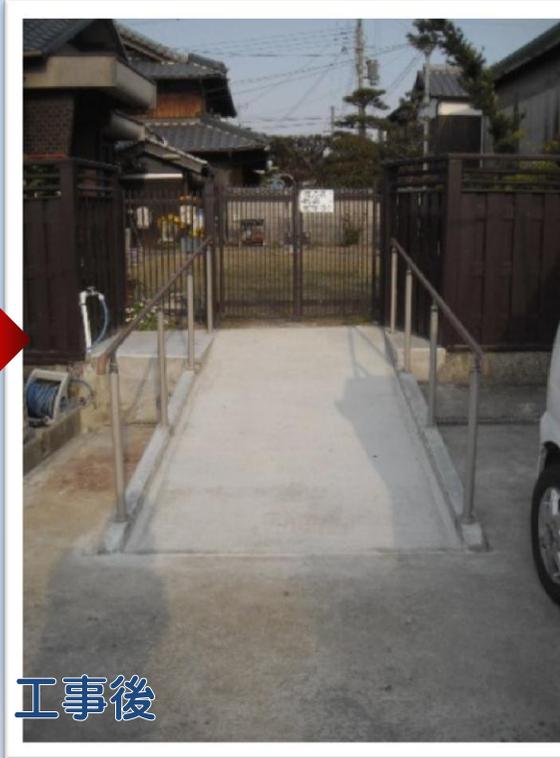


問題点 その1

- 車いすでの宅内~外の介助移動



工事前



工事後



コンクリート面は刷毛引き仕上げとし滑りにくくします。手すりも標準を被膜付き

改修後 BEFOR~AFTER

2



問題点 その2

●車いすでの日中居室～台所・外への移動

外出時のルート



実際の操作を想定して折り返し部分のサイズ勘案も綿密に！安全な範囲のサイズにしよう！

台所へのルート



台所と日中居室の間口は少しずれていましたが、操作が可能であったため、建具はそのままとしました。場合によっては建具の改修も必要です。

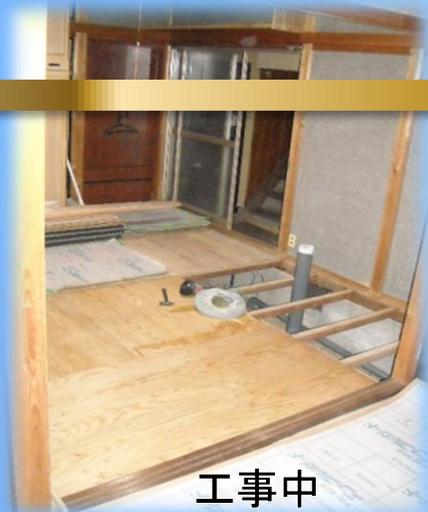
ティッピング用式台にて、台所・外出時の2方向の車いす操作に対応できました。健常者もそう不便なく利用することが出来ています。台所に移動して家族で食事が出来ました。

改修後 BEFOR~AFTER



問題点 その3/その5

- 車いすでのトイレ移動・排泄動作・洗面動作



トイレ側は段差を無くしフラットにしました！
扉は有効開口を広くとるため2枚吊戸にしました。



改修後 BEFOR~AFTER

問題点 その他

●車いすでの移動・日常生活



車椅子の為畳からフローリングへ。腰壁も貼りました。出入口は介助移動なので既製品スロープとしました。

工事前



工事後



工事前



工事後



押入れをつぶしてダンスや部屋の小物を収納しました。部屋を広く使う為です。



速くかわいいゴンちゃんに癒してもらいました。